

女性特有の健康課題

女性特有の健康課題による社会全体の経済損失



女性従業員の多くは、月経、妊娠・出産、更年期等、ライフステージごとに様々な健康課題に直面します。そのため、こうした健康課題に起因する望まない離職等を防ぎ、女性が健康で十分に能力を発揮することができる職場づくりが不可欠となっています。

経済損失計 (A+B) (年間)

計 **3.4** 兆円

女性特有

男女双方

月経随伴症

更年期症状

婦人科がん

不妊治療

約**0.6**兆円

1.9兆円

0.6兆円

0.3兆円

A うち労働生産性損失総額

約5,700億円

約17,200億円

約5,900億円

約2,600億円

欠勤

約1,200億円

約1,600億円

約1,100億円

約400億円

パフォーマンス低下

約4,500億円

約5,600億円

約150億円

約50億円

離職

—

約10,000億円

約1,600億円

約2,200億円

休職

—

約3,000億円

—

B うち追加採用活動にかかる費用

—

約1,500億円

約500億円

約340億円

参考：経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」

宇都宮市の取組

宇都宮市では令和7年度、市内中小企業が女性特有の健康課題について理解を深め、働きやすい職場づくりの推進や、企業における生産性の向上・女性活躍の推進につなげるため、「女性の健康経営コンサルティング事業」を市内中小企業（製造業）の協力のもと、モデル実施いたしました。

実施内容

- 1 女性の健康課題に関する意識調査※（意識醸成前）
実施時期：2025.11.4～2025.11.14
- 2 【意識醸成①】女性の健康課題に関するセミナー動画配信
実施時期：2025.12.1～2026.2.18
- 3 【意識醸成②】女性のための健康管理アプリ「ルナルナ」を用いた意識の醸成
実施時期：2025.12～
- 4 女性の健康課題に関する意識調査※（意識醸成後）
実施時期：2026.2.2～2026.2.18



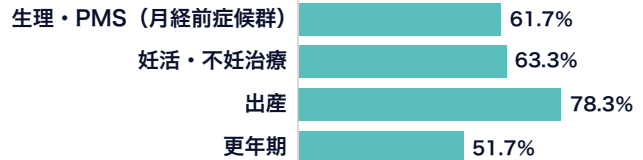
取組結果は裏面へ

※意識調査とは、性別問わず女性従業員の健康課題に対する考えや現状等を把握する調査です。

取組結果

Q 女性特有の健康課題について会社の制度として用意されていると良いカテゴリは？（複数回答）

調査により自社の従業員が求めている制度や解決してほしい課題がわかります



Q 自身の体調や個人的な環境に関する不安事について上司に伝えることを躊躇することがある？



男性より女性の方が躊躇すると回答

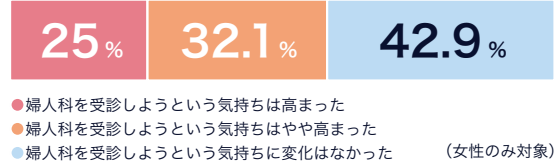
Q 女性特有の健康課題に対して、職場にどのような配慮があると働きやすい？

- 1 男性上司の理解
- 2 経営陣・トップ、男性社員全体の理解

本取組では会社全体の理解促進のためセミナーを実施

Q 今回の取組を通じ、女性特有の健康課題の不調があったとき、婦人科を受診しようという気持ちは高まったか？

半数以上が高まったと回答！セミナー視聴等によりヘルスリテラシーが高まり、「我慢する」のではなく「自分の身体と向き合う」きっかけになります。



Q 女性特有の健康課題（月経・更年期症状など）による不調の対処法・付き合い方の理解度は？

(1: 理解していない 10: 非常に理解している)

理解度7以上を回答した人の割合 (女性のみ対象)

施策実施前 16.6% ▶ 施策実施後 39.2%

また、「宇都宮市や企業が女性の健康課題に関する取組をすることが市内の企業で働き続けたいという気持ちにいい影響を与える」と回答した人が

全従業員のうち
83.3%でした！



不調の改善につながると、自分らしく仕事と付き合いいていけるのではないのでしょうか？
ぜひ各企業でも取り組んでみてください！

運営担当者と参加した企業担当者の声



参加した企業担当者

今回の取組を通じて、わずかな啓蒙であっても社員の意識が変化することを実感いたしました。また、アンケート調査により、これまで十分に把握できていなかった社員の意見や実態を知ることができ、今後の職場づくりを進める上で大変有意義な機会となりました。

女性特有の健康課題は多様であるため、まずは各企業等における課題を見つけることが大切であり、職場へのエンゲージメントや組織の活性化につながります。宇都宮市では、令和8年度から「女性活躍推進補助金」の補助メニューに「女性の健康経営コンサルティング費用」を追加します。是非、ご活用下さい。



宇都宮市担当者